

新型コロナウイルス危機に際して、デジタル領域では以下のような革新的なソリューションが幅広く提供されるようになりました。

データのプライバシーを守りつつ、モバイルデータやアプリを利用した、ソーシャルディスタンスの測定、警告や予防および接触者の追跡



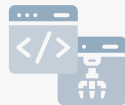
ポーランド、バルセロナ、ユーリッヒのスーパーコンピュータセンターを活用した、ワクチン、治療薬および診断薬の研究開発。EUが出資するコンソーシアム「Exscalate4CoV」は、骨粗しょう症の治療薬として承認済みのジェネリック医薬品ラロキシフェンが、新型コロナウイルス感染症の軽症患者の治療に効果がある可能性を発表しています。



人工知能(AI)を活用したソフトウェアによる肺感染症の画像診断



欧州委員会が支援する「EUコードウィーク」の運営組織は、遠隔授業の開設に関する学校教員への支援のほか、プログラミングやロボット工学などの授業内容の共有化を進めています。



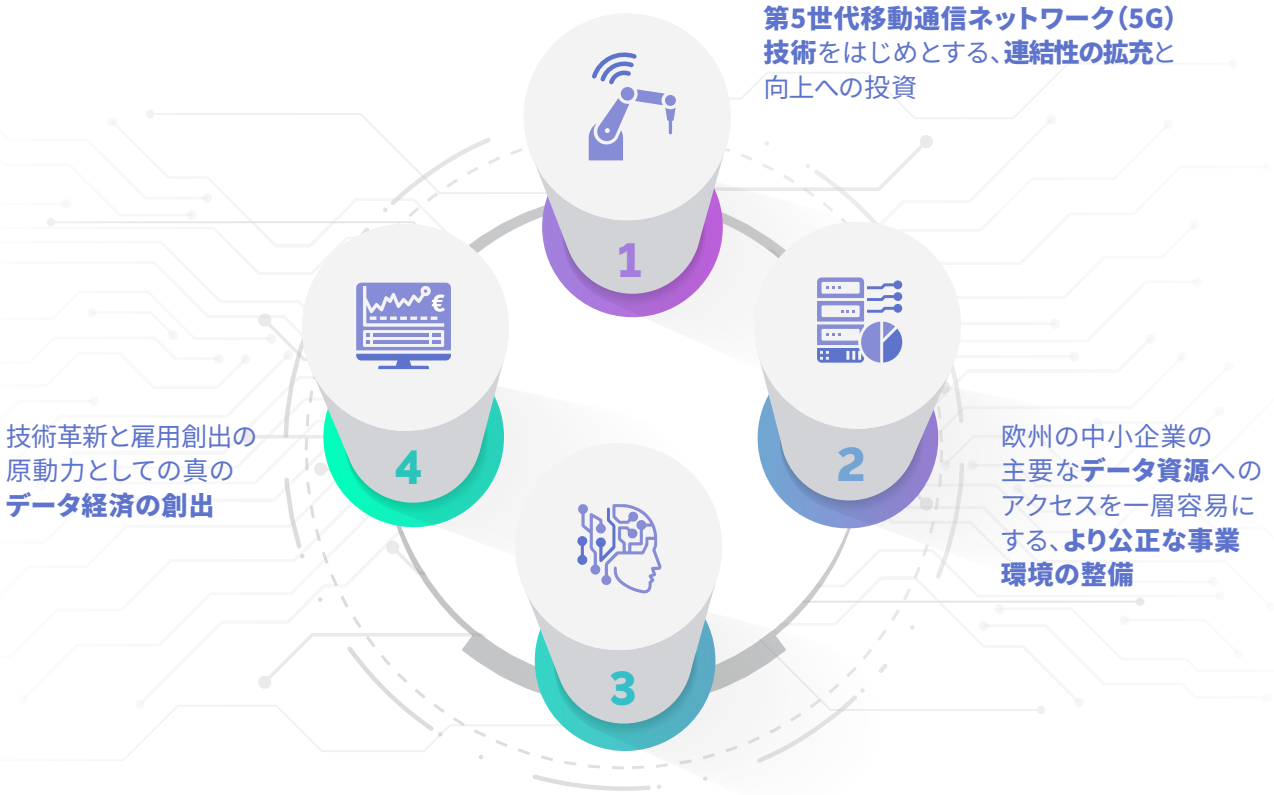
今回の危機では、EUはディスインフォメーション(虚偽情報)対策を強化してきました。例えば、欧州委員会は、新型コロナウイルスに関する誤った通説に反論する動画を制作し、その再生回数は700万回を超えています。



再生回数は
700万回

日本とEUは、AI、5G、サイバーセキュリティ、データ経済、規格、プラットフォーム規制、共同研究などをテーマとしたハイレベルなデジタル政策対話や戦略ワークショップを(産業界を巻き込んで)毎年開催しています。

今後、EUの緑の復興において重要な役割を果たすデジタル化については、主要な柱として次の4点に重点を置いています。



第5世代移动通信ネットワーク(5G)技術をはじめとする、連結性の拡充と向上への投資

欧州の中小企業の主要なデータ資源へのアクセスを一層容易にする、より公正な事業環境の整備

技術革新と雇用創出の原動力としての真のデータ経済の創出

以下の分野での復興投資など、デジタル・サプライチェーンで戦略的に重要な産業・技術基盤の強化:

- 人工知能(AI)
- サイバーセキュリティ
- データおよびクラウドのインフラ
- スーパーコンピュータ
- ブロックチェーン

